



SERVICE CLUB TO THE YMCA

Nagoya GRAMPUS

名古屋 グランパス ワイズメンズクラブ

NAGOYA YMCA 5-29KAMIMAEZU2-CHOME NAKAKU,
NAGOYA 460 JAPAN

国際会長標語 Let's care share. 労りの手、分かち合いの心
 アジア会長標語 Look beyond yourself. 乗り越えよう、われわれ自身を
 日本区理事標語 広げよう！社会にワイズの大きな輪-日本区6000への実りをもとめて-
 中部部長標語 奉仕は命なり、友情は宝なり
 会長標語 共に生きる



1993年 6月号

〈今月の聖句〉

狭い門からはいれ、滅びにいたる門は大きく、その道は広い。そして、そこからは行って行く者が多い。命にいたる門は狭く、その道は細い。そして、それを見いだす者は少ない。

(マタイによる福音書 第7章12節~14節)

=EVALUATION&PLANNING強調月間=

一昨年の12月に若い力で新しいワイズをと準備会を始め、昨年の4月には設立総会、9月にはチャーターナイト、あつと言う間に6月を迎え初代会長と言う名誉ある仕事も区切りをつけることになりました。

今までの流れにこだわらない言うことでワイズ経験者を極力少なくした為の会の運営、ワイズとしての活動等についてはあまり満足できる状態とは言えませんが、例会の会場も安定、グランパスワイズとしての形が出来上がりつつあるのではないかと思います。

ここまで来たのは、メンバーの皆さんは勿

論のこと、スポンサークラブの物心両面での援助、YMCAからの支援等多くの人々のご協力の賜物であり誠に感謝に堪えません。

メンバー数は目標の30名に達していませんし、ワイズメンズクラブとしてのサービス活動、財政基盤の確立等、まだ課題一杯という状態で次期会長にバトンタッチするのは誠に申し訳ない気持ちですが、ワイズ経験の無い坂口新会長の基に本当の意味で新しいスタイルのワイズ作りがスタートします。

7月には一泊の懇親会が予定されています。新しい年度の始まりに乞うご期待！

<会長 吉田一誠>

1993年6月例会のご案内

第一例会

と き；6月14日(月)19時~21時
 と ころ；名古屋不二パークホテル(5F)
 中区錦3-15-30(TV塔西側)
 TEL 962-2289

プログラム；卓話“消費不況”

講師；滝川真充氏

司会者；池野照昭君

滝川氏は松坂屋の総合企画室で開発事業を担当されています。百貨店業界からみた消費不況と言われる現状、これからの動向等について一味違ったお話がうかがえると思います。

欠席者は6月12日(土)の正午までにYMCA (TEL 321-1600 FAX 331-6739 連絡先：社体 木野村主事)へ連絡下さい。

第二例会

と き；6月22日(火) 19時~20時30分
 と ころ；名古屋YMCA(上前津)
 プログラム；次年度計画他

《予告》一泊懇親会

と き；7月3日(土)・4日(日)
 ところ；坂井温泉“湯本館”(常滑市)
 年度の始まりにあたり全員集合

新旧役員会

と き；6月17日 19時~21時
 ところ；名古屋YMCA(上前津)

| 5月25日現在 | 例会出席状況 | | | | BFポイント | | クラブファンド(5月) | |
|---------|--------|-----|------|-----|--------|---|-------------|---|
| | 在籍者 | 23名 | 第1例会 | 20名 | 当月・切手 | - | ニコBOXノート | - |
| | 例会出席者 | 20名 | 第2例会 | 15名 | 当月・現金 | - | ファンド | - |
| | 当月出席率 | 87% | 部会他 | 一名 | 累計 | - | 合計 | - |

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

=強い義務感を持とう。義務はすべての権利に伴う=

5月第一例会

<司会 荒川兄>

<卓話>ワインについて (講師 島幸子氏)

日本では、ワインは異文化的存在であるが、ヨーロッパでは8000年近くの歴史があり、生活(食事)とはきってもきれない関係です。

ワインは食事をすると、ほとんど胃の中は酸性になりやすいが、それをアリカリ性にする。また、赤ワインのタンニン(しぶみ)が消化を助けるとも言われております。

ソムリエとは、ワインの専門職であり、ワインの仕事をしている人をすべて言ってもよいですが、現在は、日本ソムリエ協会にて認定されている。ワインの品種をお客様の好みや食事の内容に合わせてサービスする仕事であり、フランスでもまだ何百年の歴史しかなく、そもそもは王様のワインの用意をする職であった。

ワインの歴史

ワインの発生地は、8000年前に西アジア、現在のグルジア(ロシア)、中国西部といわれており、ブドウを土器に貯蔵し、つめることによりつぶれて自然醸酵したものと考えられる。

次にエジプトでブドウの栽培をはじめた、王様へ献上する高価なもので、このため誰が作ったかわからせるために、ワインをつめたカメに土でシールをしてその上にロールシールの印をつけるようになりました。

エジプトからギリシャへ、ギリシャは哲学



者や宗教家の間で広まった。食事は自宅でもその後だれかの家に集まってワインを水やチーズ、小麦で割ってうすめて味見をすることをサンポーションと言い、現代のシンポジウムの語源となる。その後ローマ時代へ、食事と一緒にワインを楽しむ、またローマ人によりヨーロッパ各地へぶどうが移植されワインがいろいろな地方へ伝えられた

本日は、カリフォルニアの白と赤ワインを味わいました。

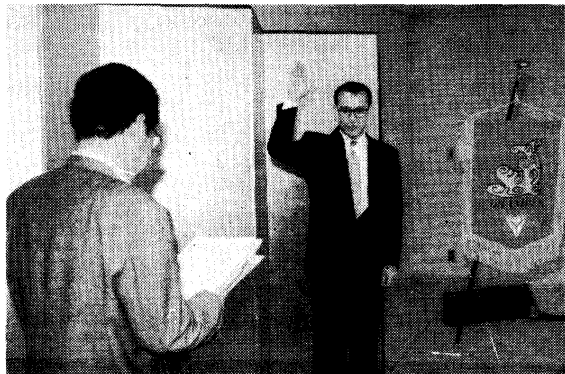
ワインの味わいかた

まず、あかりにすかして色を見る。そして、香りをかぎこの時に異臭がないかを見わける。はじめの香りをポップアロマと言い、その後、テーブルの上で、指で挟んでグラスをゆっくりまわす。これをスワリングといい、ワインと空気と混ぜて酸化させる。これによりポップアロマが変化して、ブーケと呼ばれる香りになります。これでやっとワインを口にふくみますが、はじめの一口目は酸味としぶみを感じるだけですので、ここで味を評価せず、2口目は、口の中全体にふくむとはじめて本来の味となります。

ソムリエは料理とワインの相性も考えます。例えば、白身魚のさしみなどは、リンゴ酸が多い白ワインがよくあいい魚でも醤油などで味付したものは、乳酸が多い赤ワインがよくあいます。

ワインは非常にデリケートで、特に空気と合うと変化し、また温度や湿度によっても影響します。ですから、一番よい状態かどうかを作りだすのも仕事のうちで、例えば、1カ月かかって船で送られたものは、1カ月ぐらいねかせないととの状態に戻りません。とにかく、ソムリエはワインのことをよく知っていなければなりませんし、レストランにソムリエがいましたなら、何んでも気軽にワインのことを聞いてください。

<入会式> 4月に続き、木野村兄の入会式を行いました。木野村兄については既に4月号ブリテンにてご紹介しましたが7月より連絡主事としてお世話になります。



<諸連絡> 日和田十周年、次年度委員確認例会終了後、講師の島さんのご紹介により不二パークホテル北隣りにある、ワインレストラン“SHOW宮長”で二次会、大変雰囲気の良いお店で歓談、ワインのお話しの仕上げをしました。

<出席者> 阿部、荒川、井川、池野、内垣内、馬場、尾崎、加藤、坂口、坂倉、佐藤、滝川、三井、宮木、吉田一、木野村

(ゲスト) 坂野氏(2回目)、早川氏、山本氏、島氏(講師)

特別例会“潮干狩り&バーベキュー”

楽しみにしていた“タケノコ”パーティが残念ながら延期ということで、急遽潮干狩り

とバーベキューでもと計画、5月9日に行われました。

干潮は午後でしたが、当日は午後から雨というあいにくの予報、交通渋滞を避けようと午前十時頃集合、まずは潮干狩り、1500円の入場券を払って挑戦するも1粒300円、500円、と言うありさまにギブアップ(潮干狩りは干潮にやるもの)、気を取り直して昼食のバーベキュー、坂口兄のご尽力により泉万(株)の旬彩荘と言う素晴らしいロケーションに楽しいゲストの皆さんも加わり楽しく食べて飲むことができこちらの方は大満足でありました。

腹ごしらえもできたところで、貝採りを再開、小雨の中ガンバッテ、1粒いくらかから何とか100gいくらかと言うところまで採ることができました。おつかれさま!

準備から、後始末までお世話になった坂口兄ご夫妻に感謝、感謝

“参加者” 阿部、井川、坂倉、坂口、吉田一
メネット: 井川、坂倉、坂口

コメント: 井川2、坂倉2、阿部1

ゲスト: 早川氏ご夫妻他6名



グランバスターク

12年前から始めた御茶(表千家)御花(東山公正流)、このなかなか知られざる世界を。春夏秋冬、1年間を通して御茶の御手前が毎回変わり、週1回の御稽古で月4回、年48通りの御手前の仕方がある。これが最低の数で茶道具が変わると、道具の扱い方や御手前の仕方変ってくる。御花もまた同じで1年通してその季節折々の花が有り、その花ごとの生

け方に決まりがある。たとえ同じ花でもその花の始まり(季節の始まり)、盛り、残花と生け方があり入れればいいものではない。このように1年間を通して、初めて1回御稽古したことになり、自分はやっと12回稽古したことになる。1回の御稽古サボると1年後しかなく、その数分間で覚えた御手前は1年間記憶しておかなければならない。御茶、御花で覚えた決まりごとはその人の特権であり、決して自分より下の人には教えないという結

構厳しいルールがある。このように先生、先輩との上下関係は君主制のごとく、年末年始の挨拶、盆暮れの付け届け、各会合の絶対参加、先生・先輩出品の手伝い等は当たり前で、無断欠席及び1年間の音信不通の時は破門となり自分の商売よりも厳しいものである。

まだグランパスは居心地がいい、司会とトークの原稿とニコノートだけだから。

(井川清澄亭)

(次は池野兄6月18日までに吉田一へ原稿をお送りください)

行本兄からのグランバストーク

「たった1年でも思い出はいっぱい」

チャーター前から現在までには、語り尽くせぬほどの思い出がありますが、皆様方にはたいへん親切にいただきましてありがとうございました。

年は近くても人生の大先輩の阿部さん、奥様とも幼稚園でお知り合いだった荒川さん、バザーの時には藤製品屋さんでがんばった井川さん、伊左治さんブリテンご苦労様です。内垣内のおかげで結婚できました。馬場さん必ず可愛い方をご紹介します。我が家の嫁は尾崎さんのファンです。女性会員第1号の加藤さん、坂口さんには、デイキャンプの場所さがし、新居を探していただいた坂倉さん、佐藤さんカナダクラブ頑張ってくださいね。婚約指輪を社員割引にいただいた滝川さん、林さんにはサッカーのグラウンドさがし、バザーの時に丁寧にこんにゃくを切っていた三井さん、宮木さん以上の会計はいませんね。同じ天白区民の油口さん、吉田さん連絡主事ご苦労様でした。そして、吉田一誠さん、池野さんにはY'Sのこと、人生のこと、良いこと悪いことなどいろいろお教えいただきました。新しく高橋さん丹羽さん木野村さんを迎えクラブの益々のご繁栄と皆様のご健康をお祈り申し上げます。

<行本兄の新任地での活躍をお祈りします>

ニコノート

| | | |
|---------|-------------------|--------|
| 1 荒川恭次 | 初めての司会を記念して | 1,000 |
| 2 滝川眞充 | 島さんの美しさに感激して | 1,000 |
| 3 佐藤壽晃 | 長女の誕生日 | 1,000 |
| 4 内垣内登壘 | 島さんありがとう | 1,000 |
| 5 尾崎史忠 | 景気回復を祝して | 1,000 |
| 6 坂口功祐 | 内垣内さんおたんじょう日おめでとう | 1,000 |
| 7 馬場寅太郎 | 先月31才になりました | 1,000 |
| 8 阿部一雄 | ワインを飲もう! | 1,000 |
| 9 三井秀和 | 明日の為に | 1,000 |
| 10 池野輝昭 | 島ちゃん有難う! | 1,000 |
| 合 計 | | 10,000 |

第2例会報告

<5月25日(火)>

1. 6月5日・6日 YMCAセミナー
吉田(一)、坂口、阿部、参加予定
セミナーに対する援助2万円承認
2. “釣”同好会を開催する。6月9日
3. 6月11日~13日日本区大会(於京都)
池野、坂口、吉田(一)が参加予定
4. 6月17日(木)新旧役員会 19時YMCA
5. 第二例会 6月22日(火)19時 YMCA
6. 一泊懇話会 7月3日(土)19時~4日(日)
内容については新旧役員会で決定する。
第一例会を兼ねることとする
7. 8月聴覚障害児キャンプの支援の件
6月の新旧役員会で決定する。

<出席者> 三井、宮木、尾崎、坂口、丹羽、油口、高橋、井川、阿部、板倉、木野村、馬場、吉田一、滝川

<ゲスト> 坂野氏

ハッピーバースデイ

| | | | |
|---|---|-----|-------|
| メ | ソ | 7日 | 林 勝博 |
| | | 28日 | 滝川 眞充 |
| コ | メ | 9日 | 宮木乃里子 |
| | | 11日 | 林 博範 |